

政権交代こそが、日本の真の構造改革!

——小沢代表演説

政権交代の灯を消さないために、民主党全力の力を出し切らなければなりません。私自身が変わり、民主党を政権が担える政党へと改革していく決意です。そして、日本を改革しようではありませんか!

渡部恒三国対委員長より



政治が国民のものであるためには、選挙で、私たちの一票で政権を選び変えることのできる民主主義が必要です。だからこそ民主党は、自民党に代わる政権政党になるために、国民からの信頼を回復しなければなりません。三日月議員は、若さと誠実さを前面に国会でも奮闘してくれています。将来は総理大臣になれる人材だと期待しています。苦しいときほど笑顔を忘れず、愚直に頑張れ!と叱咤激励しています。応援してやって下さい。

激励を受けました!



渡部国対委員長の地元名物「起き上がり小法師」

なんと! 小沢代表、渡部国対委員長も、三日月と同じ5月20日生まれ!

政策のポイント

- 「共生」の理念に基づき、明確な設計図をもつての日本再建。
- ①人づくり ②地域主権 ③経済社会の真の構造改革。

小沢代表が掲げる党改革

- 目標** 国民が安心して政権を任せられる、「信頼される」政党にする。
- 理念**
- 1 いつでも政権交代ができる態勢を整え、二大政党制を機能させる。
 - 2 自民党に対する「対立軸」を明示し、国民に政権の選択肢を示す。
- 方策**
- 1 あらゆる分野で自民党政権との「対立軸」をまとめ、国民に明示。
 - 2 政・官・業の癒着構造の追及。
 - 3 「草の根活動」を重視し、国民の生の声を速やかに活動に反映。
 - 4 熟年・壮年・青年の各世代のアイデアを結集できる挙党体制の確立。

① 行政改革 「特別会計」「談合」「天下り」に徹底的にメスを入れます!

- ①財政改革**
 - 政治主導による適切な予算配分の実現
- ②特別会計の見直し** (平成22年度までに、先送りなし)
 - 特別会計の廃止、一般会計化
 - 特別会計事業の廃止、別法人化、民間委託
- ③公務員制度改革**
 - 天下りの制限
 - 総合的な評価制度の導入
 - 人件費を約2割削減
- ④談合の防止**
 - 天下り在籍企業の入札や随意契約の限定
 - 入札情報の提供禁止
- ⑤天下りの防止**
 - 独立行政法人の長の公募を義務化
 - 独立行政法人役員天下りを制限
- ⑥国会に「行政監視院」の設置**
 - 行政の監視と立法に関する機能強化
- ⑦政策金融改革**
 - 政策金融の機能や個別機関(商工中金等)の見直し

③ 子ども 民主党は、次世代育成支援を進めます!

- ①各種手当で子育てを応援!**
 - 「子ども手当」の創設 所得制限なしで、月額16,000円を支給。(義務教育終了まで)
 - 「出産時助成金」の創設 20万円の一時金支給で、自己負担なしの出産を実現!
- ②保育施設の充実を図ります!**
 - 待機児童の解消
 - 学童保育の充実
- ③教育制度改革にも着手!**
 - 公立小中学校の改革 クラスあたり16.6人の少人数学級の実現。
 - 「学校安全基本法(仮称)」の制定
 - 奨学金制度の充実 希望者全員への奨学金貸与と高校への財政支援を拡充。
 - 私立学校への支援 授業料の補助を実施。

民主党の政策

② 医療制度改革 誰もが安心して医療にかかれる制度を!

- ①がん対策基本法案**
 - どこでも標準治療を受診可能に!
 - 人材育成と資格制度の推進
 - 緩和医療の確立
 - 治療研究・早期発見・予防の推進
 - ②小児医療緊急推進法案**
 - 連携体制・緊急相談体制の整備
 - 医療費を、未就学児→無償 中学卒業迄→1割
 - 医療従事者の勤務条件改善
 - ③納得・安全推進基本法案**
 - 医師らによる納得のいく説明
 - 患者・家族にカルテ等の開示訂正の請求権の付与
 - 政府による医療事故の調査制度の確立
- この問題について質問しました! 詳細は次ページに掲載

④ 農業 民主党は、食の安全を守り、元気な農業をつくります。

日本の農業の現状は?..... このままでは衰退する一方...!

	昭和60年	平成15年	変化率
農地	538万ha	472万ha	12%↓
産出額	11兆6千億円	8兆9千億円	23%↓
就農者数	444万人	261万人	41%↓
食料自給率	53%	40%	25%↓

民主党案

食料自給率目標	10年で50%、将来的には60%へ	政府案	45% (平成27年度目標)
①米、小麦、大豆、菜種	①米、小麦、大豆、菜種	米(収入減の場合のみ補てん)、麦、大豆、てん菜	
②自給率の向上に資する作物	②自給率の向上に資する作物	でんぷん原料用ばいれいしょ、その他の農産物	
③地域の農業振興に寄与する作物	③地域の農業振興に寄与する作物		

補助金の直接支払

対象農作物	対象農家	対象面積	支払総額	支払基準
米	全ての販売農家(約200万戸)	200万ha	1兆円	生産面積(規模、品質、環境を考慮)
大豆	認定農業者・要件を満たす集落営農	不明	不明	不明
小麦	認定農業者・要件を満たす集落営農	不明	不明	不明
菜種	認定農業者・要件を満たす集落営農	不明	不明	不明

3/1(水) 予算委員会第5分科会

質問しました① 小児科医・難病対策について

「小児医療」は、医療従事者が過酷な環境にあることで、志望者が減少し、さらに過酷な環境におかれるという悪循環に陥っています。また、「難病対策」は、支援のあり方が不公平なのが現状。これからの医療のあり方を質しました。(主なやりとりは以下のとおり)

小児医療を取り巻く厳しい現状…

■三日月…小児科医の数が減少傾向にあり、長時間勤務の実態、大学小児科勤務医の約9割が週1日以下の休日取得…過重な労働条件は憂慮すべき事態。厚労省は実態把握を!

■川崎大臣…3月中旬に実態調査をまとめる。

「胆道閉鎖症」への支援策を質す!

■三日月…難病とされている「胆道閉鎖症」だが、患者・家族への支援が現状では不十分!(治療につながる)早期発見法の確立や、高額な医療費への保険適用、20歳以上の患者への支援(現在の支援は未成年対象)、(心臓・腎臓移植者同様)肝臓移植者への「障害者手帳」の交付を行うべきでは?

■川崎大臣…検討を進めてきたが、結論を出すべき時期。

■担当局長…未成年者以外の生活実態も調査・報告する。

これからの「難病対策」は?

■三日月…治療費に対する補助金制度は国の制度であるにもかかわらず、国庫負担は約6割。国は責任もって予算確保を!



4/5(水) 国土交通委員会「都市計画法等の改正案」関連質疑

質問しました② まちづくり予算の使い方について

今国会では、都市計画法の改正法案(いわゆる「まちづくり3法」)の審議が行われています。法案の趣旨は、住民参加型で、広域調整も加えた自治体の計画によって、郊外への無秩序・無計画な大型店の進出を、統制していくというものです。

整合性を欠くこれまでの都市計画の検証や、現状をしっかりと確認した上で実効性が確保されるよう、強く訴えました。(主なやりとりは以下のとおり)

まちづくりへの基本認識は? これからのまちづくりは?

■三日月…中心市街地の活性化と、理想的なまちづくりに対しての考えは?

■北側大臣…市街地に賑わいをもたせ、経済だけでなく生活空間として機能するまちづくりが大事。これが今回の法改正の目的。

■三日月…既に法整備されている「都市再生」地域再生」と今回の法律案とのちがいは?

■北側大臣…今回は経緯が違う。中心市街地活性化本部を設置し、省庁横断的な体制をつくる。



これまでのまちづくり政策の検証を!

■三日月…商業・都市計画がバランスを欠き、転用による耕地の減少、公共施設の郊外移転等の現状を踏まえた、これまでの政策の検証を。

■北側大臣…問題があった。地域住民が判断できる仕組みを作る必要がある。また、税制や予算を含めた都市計画の総合活用で、都市機能の再移動を促したい。

予算管理は確実に、ムダなく!

■三日月…中心市街地活性化への支援策にかかる国の支出の実態は?

■担当局長…昨年度の関係8省庁の予算は1兆276億円。内訳は把握していないが、ムダづかいはない。大きな金額なので(検証は)大変な作業である。また、中心市街地活性化本部で施策の総合調整を行い、施策をチェックする。

■三日月…どこでどのように予算が使われているか把握できていないのは大問題。

3/17(金) 国土交通委員会一般質疑

質問しました③ 航空会社の安全対策について

不祥事が相次ぐ航空業界において、スカイマークエアラインズ社(以下スカイ社)が、機体構造部材の一部が修理期限を超過したまま運行していた問題と、日航の一連の整備トラブルについて質問。諸外国に倣い、日本における航空に対する「安全監視体制」の強化と正確な報告と安全確保を訴えました。(主なやりとりは以下のとおり)

機体の修理期限超過についての経緯・経過は?

■三日月…①メーカーからの恒久的措置の指示の有無は? ②指示の連絡は、航空会社の受託整備会社へのみされたのか? ③運行の安全に問題は?

■航空局長…(①、②についての)スカイ社の発表は必ずしも正確ではない。運行は可能だったが、整備管理の不備を厳重注意した。

リース機の安全確認は?

■三日月…当該機が修理実施後の運行にあたり、誰がどのような安全確認を?

■航空局長…スカイ社の整備担当から修理完了報告を受けた。

■三日月…安全対策として、リース機の登録や耐空証明時に、修理の履歴等もチェック項目に入れるべきでは?

■北側大臣…安全確保のためにも重要。検討する。

4/11(火) 国土交通委員会一般質疑

安全確保のための情報公開を!

■三日月…スカイ社は昨年6月にも、整備不足で「厳重注意」を国交省より受けていた事実が非公表なのは問題。違反者には社会的制裁が必要では。

■北側大臣…これからはすべて公表していく。



公共輸送事業者としての自覚は?

■三日月…地元に必要な説明なきまま、不採算を理由に一方的な路線撤退を決め、「厳重注意」以降は、運休・欠航が目立つ。定期安全運行という「公共性」の認識を欠いているのでは?

■スカイ社社長…公共性は認識しているが、事業収益の健全性とは別問題。地元への説明不足は認めるが、当社には低価格の提供という使命と、多数の乗客獲得が課せられている中、搭乗率が上がらない現状では撤退せざるを得ない。

トラブルを繰り返さないためには?

■三日月…日航は昨年、改善命令を受けての「改善措置」後の、35件ものトラブル発生をどう認識? マニュアル整備の進捗状況は?

■日航社長…トラブルの背景には、経営と現場の距離感、意思の疎通、風通しの悪い組織風土があった。一日も早く改善する。また、マニュアル改善は概ね3月末で完了。

活動日誌 地域で、国会で、元気に活動中!



▲小児医療勉強会 (大津市・滋賀医大にて)



▲滋賀県選出国會議員で街宣活動 (近江八幡市)



▲岡田克也元代表と一緒に台湾を視察



▲栗東市ボランティア・市民活動支援センター設立総会



▲党員・サポーター集会 (草津市)



▲駅頭活動 (守山市)



▲国土交通委員会視察 (群馬県前橋市・伊勢崎市)



▲草津小児救急医療センター開式典

ホームページにて活動日誌毎日更新中!
三日月大造・元気サイト
元気一番
www.genki1.com